

## 女性会員の紹介（第5回）

今回は、平成29年4月29日泉区の泉海洋センターで開催された「第19回泉区女子剣道大会」で見事優勝された高森剣道クラブの中本真子選手を紹介します。大会では伸びのある「面」に行く姿が印象的でした。

中本さんは一関市の出身で現在21歳、教員を目指して勉学に励んでいる傍ら、塾の講師を勤めるなど、見るからにいきいきしている美人です。

氏は、小学6年生のとき、友人が剣道をやっているのをみて入門し、これまでずっと続けていたのですが、高森剣道クラブに入ったのがなんと中学1年生の冬からで、一関市から高速自動車道で1時間半もかけていわゆる出稽古をされたそうです。きっかけは東北各地から選手が集まる大会で、泉区剣道連盟所属の三浦道場に敗れたことだそうで、是非泉区の道場で稽古したいと思いついに稽古に通うことになったのだそうです。

高校生活では、なかなか結果が出せず、3年生のとき、東北大会で初めて団体戦にスタメンで出場し、結果はベスト8。すごい選手です。

現在は、親の転勤で仙台市内に住居しているとのことですが、稽古場である高森剣道クラブの雰囲気について尋ねました。全体の人数は少ないが多くの先生方に稽古をいただけるのが非常にうれしいが反面小学生4年生以下なので、同年代が少ないのがさびしいとのことでした。剣道経験者がもっと道場に戻ってきてほしい。そして新しく始める人がいっぱいいるとうれしいと語ってくれました。(次のページに続く)



剣道の魅力はについて尋ねました。

その1 運動は得意ではなくできるかどうか不安だったが基本を意識すれば上達できる競技（武道）であること。

その2 普段の生活に武道の精神を取り入れ、きちんとした生活ができている時には剣道もしっかりできること。

その3 剣道は「自分をささえてくれるもの」いつでも受け入れてくれ、心を開いたコミュニケーションがあること。

現在、氏の中学生の兄弟も剣道をやっており、負けたくないとの思いも剣道続ける原動力になっているのだそうです。

きちんとした生活を続ければ剣道も良くなるとの話は心に響きました。これからの精進を祈念しております。

（平成29年4月29日の大会で事務局次長の小笠原がお話をお聞きしました。）